

時代の潮流の変化と新たな計画の在り方の視点・論点

・ 21世紀の我が国における北海道の特性について

「北海道が有する良好なイメージや居住感、開放的な風土など、北海道には、豊かな自然環境や開拓の歴史等に由来し、定量的な評価が困難であるが高く評価すべき価値が多々ある。」等の、北海道の価値についての当部会での多くの意見・議論を集約すると、以下のような認識が導き出されるのではないかと。

冷涼な気候を有し、東アジアとロシア極東地域との接点に国土の22%を占めて位置する北海道は、我が国の経済社会に、フロンティアとしての可能性と同時に、他とは異なる地としての多様性と役割を与えている。

広域分散型社会である北海道は、グローバルな視野から見ても、良好な人的な資源と社会基盤が、豊富で厳しくもある自然資源と密接に共存し、個性豊かな地域を形成している。

21世紀において、我が国の持続的な成長の姿を展望するにあたり、これらは北海道が有する貴重な価値・資源であり、こうした地域の優位性を更に活かしていくことが、我が国への貢献につながるのではないかと。

・ 21世紀を展望した我が国の直面する課題

21世紀の我が国は、持続的・安定的な成長に向けて、人口減少・少子高齢化とグローバル化という極めて重要な環境の変化を迎えている。この大きな変化の中、人の力を高め、グローバルイズムに対応しうる民の活力・地域の競争力の育成が急務となっている。

一方、21世紀は環境の世紀とも言われる。経済と環境が両立する持続可能で、安全・安心な地域社会の形成のため、世界の模範となる人と資本と自然の調和的な関係を築き上げることが、国家的な課題となっている。

・ 新たな時代の潮流の変化に対応し、北海道が国家的課題の解決に果たす役割

我が国の課題の解決に貢献する北海道の役割を検討する際には、企画調査部会報告における北海道の役割の今日的意義と、北海道を巡る新たな時代の潮流の変化への対応、という2つの点について検討することが必要。

1. 企画調査部会報告における北海道の役割の今日的意義

北海道開発分科会・企画調査部会報告では、北海道は、その優れた特性を活かし、以下の4つの課題について、我が国において中心的な、将来のあるべき姿を先導する役割を果たすとした。このことは、21世紀に我が国が直面する課題への寄与という視点から見ても、その重要性を一層、発展的に高めているのではないかと。

1)安全な食料の安定的供給、という課題については、例えば、

- ・良好な北海道の自然資源を活かし、安全な食料を安定的に供給するとともに、生産から加工・流通までを一貫したフードチェーンとしてとらえ、品質の良い高付加価値の食品を消費者にタイムリーに提供すること
- ・農水産物の輸出拡大に向けた取り組みを促進し、我が国の食に係る産業の競争力を高めること

が求められているのではないか。

2)自然環境等の保全、資源・エネルギー問題解決への寄与、という課題については、例えば、

- ・北海道の豊かな自然環境等の保全、資源・エネルギーの問題を、環境と経済が両立する持続可能な社会の実現に向けた一体的な課題として捉え、これを我が国のモデルとして解決していくこと

が求められているのではないか

3)観光・保養など国民の多様な自己実現や交流、生活の場の提供

4)国際交流拠点や教育の場としての貢献、という課題については、例えば、

- ・豊かな自然や良い景観が言葉を超えて理解されやすいこと、また、北海道が歴史的に開放的な風土を有していることを鑑みるに、グローバル社会において、多様な文化の交流の場、知の拠点としての場としての北海道の価値・役割を高めていくこと

が求められているのではないか。

このような北海道において、計画に基づき人と資本と自然が調和し、自律的に発展する地域社会の形成を図ることが、21世紀の経済と環境が共生し、持続可能な経済社会の世界的モデルとして、重要な価値を持つのではないか。

2．新たな時代の潮流の変化に対応する北海道の役割

上記の4つの課題のもと、さらに時代の潮流の変化に伴い我が国が直面する基本的問題の解決に、大きな役割を果たすことが重要ではないか。

1)人口減少・少子高齢化社会

全国を上回り急速に到来する人口減少・少子高齢化の中で、人的な資源、社会基盤、自然資源がそれぞれ適切に維持・活用され、活力のある地域社会のモデルを創出すること

急速に到来する人口減少・少子高齢化社会が地域に与える以下の諸課題を解決すること

- ・人口密度が急速に低下する地域社会をどのように維持するのか、特に、農山漁村の担

- い手をどのように確保するのか、コミュニティをどのように保つのか
- ・一定の人口の集積を維持できる都市部と過疎地域との共生的な関係をどのように確立するのか

2) 環境・エネルギー問題

地球規模の環境・エネルギー問題の高まりの中で、北海道の優れた自然資源と経済活動が調和した、グローバルモデルとしての環境・エネルギー対策を示すこと

自然環境と共生し、環境負荷の少ない持続可能な循環型の経済社会の形成に向けて、先駆的・実験的な取り組みを積極的に展開すること

- ・バイオマスの活用、自然エネルギーをどう活用するのか
- ・循環型産業・リサイクル産業をどう育成するのか

3) グローバル化の進展と東アジアの成長

東アジア諸国の急速な成長に対し、北海道の地域・自然特性を活かした独自の位置づけ、在り方を創造し、それをビジョンとして示すこと

WTO体制のもとEPAの拡大等グローバル化が進展する中で、東アジアの成長のダイナミズムを地域の持続的発展に結びつけ、競争力を高めていくための先進的、具体的な戦略を構築すること

- ・グローバルな経済連携、対日投資を拡大する上で何を行うべきか
- ・農水産物の国際競争力の強化と輸出拡大に向けて何を行うべきか
- ・観光をはじめグローバルな交流人口を拡大する上で何が必要か
- ・北海道と東アジアが直接交流する効率的な国際物流システムをどう実現すべきか

4) 自立的安定経済への移行

土地、自然、風土、地理的条件等を活かし、また、社会資本を効果的に活用した民間の創意工夫のもとに、人、財、資本、情報を世界から引きつける強い地域社会の姿をビジョンとして示すこと

新たな成長に向けて、人、財、資金、情報、技術、知識の集積とこれらの好循環を図り、地域の主体性のもとに自律的に地域が発展する仕組みを構築すること

- ・厳しい現況の中にも見られる新たな経済活動の成長の芽をどう育てるのか
- ・技術、情報、知識の担い手として不可欠な人材をどう育成するのか
- ・情報力のある世界発信型の先進拠点をどう整備するのか
- ・地域内に資金を好循環させる金融の仕組みをどう構築するのか

5) 安全・安心な国土づくり

災害に対する安全と安心が確保された国土としての北海道の姿をビジョンとして示すこと

社会資本の整備、維持を適切に行い、成長・生活の基盤としての安全・安心を確保し、

活力あるコミュニティ、豊かな自然環境保全等、国土管理について、先進的・先駆的な取り組みを実施すること

- ・災害の多発に対応した防災対策、減災対策の一層の推進
- ・自助、公助、共助が行われる地域社会をどう形成するのか
- ・自然資源との調和のとれた良質なストックをどう形成するのか
- ・首都圏等で近い将来に予想される大規模自然災害への北海道の貢献

6) 北海道の圏域の捉え方

人的な資源、社会基盤、自然環境などの地域間の資源・特性の多様性を踏まえ、自然や環境の保全、安全で安心な食料の供給など地域の担う国家的に重要な役割をもとに、圏域として実現すべき将来の姿を示すこと

- ・原始的な自然が豊富であるが集落の維持が困難な圏域の在り方
- ・農・水産業を中心に付加価値の高い生産活動が行われつつ人口減少・少子高齢化が進む圏域の在り方
- ・一定の人口の集積が確保されうる都市圏域の在り方
- ・人口集積が高く、今後、グローバルな競争力の強化が期待される道央圏の在り方